

平成30年度当初予算(案)に対する パブリックコメントの結果と市の考え方について

平成30年2月

江別市総務部財務室財政課

－募集結果－

【参考】意見の反映状況

意見提出者	2名
対象事業数	6事業
意見数	8件

A		新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
B	2	一部について、新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
C	6	今後の検討課題とするもの
D		実現が難しいもの等

※ このほか、対象事業以外の事柄について意見や提案がありましたので、参考とさせていただきます。

平成30年度当初予算(案)パブリックコメントの結果について

1. パブリックコメント募集期間 : 平成29年12月1日(金)～平成30年1月4日(木)
2. 配布部数(公共施設から持ち去られた数) : 48部 (H29 51部、H28 57部、H27 65部、H26 36部、H25 63部、H24 59部、H23 37部、H22 75部)
3. 意見提出人数 : 4名 (H29 2名、H28 1名、H27 5名、H26 2名、H25 5名、H24 4名、H23 1名、H22 7名)
4. 意見があった事業数および件数 : 6事業 12件 (H29 4事業 5件、H28 0事業 1件、H27 5事業 6件、H26 8事業 10件、H25 16事業 19件、H24 14事業 20件)

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	番号	事業名	所管課	意見数	H29予算	H30要求	H30予算 (案)	左の財源			
									国・道	市債	その他	一般財源
2 産業	2 商工業の振興	6525	経済活動広報事業	商工労働課	2	423.0	379.8	334.8			200.0	134.8
	3 観光による産業の振興	6340	地域発見魅力発信事業	商工労働課	2	652.4	697.8	697.8			90.0	607.8
3 福祉・保健・医療	2 健康づくりの推進と地域医療の安定	452	成人検診推進事業(結核予防・がん検診経費)	保健センター	1	6,891.0	7,571.3	7,512.5				7,512.5
4 安全・安心	2 地域防災力の向上	4995	地域防災力向上支援事業	危機対策室	1	417.4	426.1	426.1	200.0		13.1	213.0
6 子育て・教育	2 子どもの教育の充実	6760	食育推進事業	給食センター			39.6					
		4770	地域間交流・体験活動事業	生涯学習課		52.5	41.5	41.5				41.5
7 生涯学習・文化	2 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	1580	セラミックアートセンター企画展開催事業	郷土資料館	1	48.3	418.9	410.7			113.5	297.2
	3 市民スポーツ活動の充実	6556	スポーツ合宿誘致推進事業	スポーツ課		305.0	331.0	301.0			120.0	181.0
8 協働	1 協働のまちづくりの推進	6647	男女の出会いの場づくり支援事業	企画課	1	80.0	50.0	51.0			50.0	1.0

平成30年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

(結果欄:A=新たに取組む、または既に取組んでいるもの、B=一部について新たに取組む、または既に取組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)

番号	政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
1	2-2	経済活動広報事業	商工労働課	<p>フリーペーパーJP01について 平成30年度の第3号をもって一旦終了とあるが、増減理由に『より多くの広告費を見込み、市負担を減額する』とある、『今年で最後なので、広告に載せませんか』と企業・団体に募集をかけるのか。また、一旦終了の理由は、計3回、江別市[217]の特集が生まれ、とうふん江別を大きく紹介することがないから、手を引くということか。</p> <p>えべつeyeとJP01では、同じフリーペーパーでどのような違い(主旨等)があるのか。この事業説明では、JP01を知らない人には、江別市独自で発行し広報と似たようなことに、予算を使い、費用対効果のみでも大幅なマイナスで休刊したともみてとれるがいかがか。また、700万(JP01第1号を含めるとそれ以上か)があれば、企業間連携支援イベントや企業間交流に伴う助成資金等に充てられたのではないかとと思うが、JP01の効果を知りたい。</p> <p>H30では、一般財源のみでの対応とある。H29のその他200万が寄附なのか、何らかの助成なのかかわからないが、どのようなものか。また、今年度は一般財源のみで賄うことを承認した財政の見解を聴きたい。(一般財源減額どころか、増額してませんか。予算編成方針を無視してませんか)予算編成方針にある一般財源所要額3%削減に伴い、平成30年度の一般財源額を増額、平成31年度に減額にし、単年で削減したように見せる(あがり稼ぐような)姑息な手段を使っているのではないか。</p> <p>平成30年度以降、一旦終了とするJP01の発行費用が浮くがどのような使用を考えているのか。</p> <p>これだけ、内容量の少ないパブコメの事業説明書でも疑問点は多くある財務課のチェックが甘いのか、文章能力・事業の進め方についての指導能力が低いのか、財務面・職員教育面で財務課・職員課の意見・対応を聴きたい。(事業説明を拝見しての意見です。課が違うということにはならないはず)</p>	379.8万円	334.8万円	<p>JP01の広告費については、第1号、第2号と発行を重ねたことにより、広告媒体としての価値が上がり、企業からの問い合わせ等もあることから、より多くの広告が見込めると考えております。</p> <p>また、第3号で一旦休止する理由としましては、当初計画で江別の魅力を①訪れる街「江別の魅力の再発見」、②住む街「江別の住みやすさのPR」、③芽生える街「江別の未来」の3つのテーマを一連の流れでPRすることで、江別への子育て世帯等の移住促進等を目的としており、ひとつの計画が完結することから、第3号で一旦休止をしたいと考えております。</p> <p>また、「えべつeye」と「JP01」の主旨の違いについてですが、まず「えべつeye」については、市民に向けた企業紹介に特化したものであり、JP01については、経済だけでなく教育や子育て、観光も含めた市全体を包括する内容で、かつ市民だけでなく市外に向けた情報発信媒体としての役割を担っているという違いがあります。</p> <p>JP01の効果については、アンケート調査を実施した結果、内容について好意的なものが多く寄せられ、市内在住者から「住んでいても知らないことが多く参考になった」、市外在住者から「江別の魅力が伝わった」などの回答があり、広く江別の魅力を発信できたと考えております。</p> <p>平成30年度につきましては、「JP01」の反響が大きいことから、企業紹介に関する情報もJP01に引き続き含める形で、周知媒体を「JP01」に一本化して進めてまいります。</p> <p>本事業の特定財源については、平成29年度と同様にふるさと納税を活用させていただくこととしております。</p>	C
				<p>複数のフリーペーパーを使って広報しなければならない必要性を理解できません。1つに絞っての事業実施で十分でないか。30年度はその他財源もなくなるので、JP01は直ちに廃止できるのでないか。</p>			B	
2	2-3	地域発見魅力発信事業	商工労働課	<p>①ドライブコースご当地ナビ事業について 江別市のドライブコース閲覧数上位は喜ばしいことである。ところで、ドライブコースご当地ナビには、JAF会員特典があるが、対象の店舗での特典利用状況はどうか(閲覧数ではなく実績を知る目安になる)また、特典店舗増加への働きかけは行っているのか。</p> <p>②市内路線バスに関しての市民意見の募集があった</p> <p>地域発見魅力発信事業に路線バスを組み込んだ内容の情報発信はできないか。</p> <p>③地域おこし協力隊のマップ作成について</p> <p>リストにある経済活動広報事業で、江別の魅力を発信する目的のJP01の脱退があるが、長年の数多くの市内紹介マップを超える実用的かつ斬新なマップを作成する為に地域おこし協力隊の予算が大幅にアップしていると考えて良いか。(H28決算から120万円アップについて)</p>	697.8万円	620.3万円	<p>JAF会員特典の市内利用状況は把握できている店舗の合計で年間3万件を超え、多くの利用があると考えております。</p> <p>当該事業はJAFとの連携協定に基づき市の観光情報等をJAF広報誌の紙面やホームページにPRするものであり、JAF会員へのサービスとなる特典店加入への働きかけはJAFが実施しております。</p> <p>路線バスについては観光協会が発行するメールマガジンにてイベントなどへの路線バスでのアクセスを記載するほか、江別アンテナショップ内で路線バスマップを配布するなど観光に関連する路線バスの情報提供を実施しております。</p> <p>協力隊事業の平成28年度決算は事業実施が7月からのため9ヶ月分の事業費となっておりますが、平成30年度予算は地域おこし協力隊が作成する周辺につながるMAP作成に係る費用を含めた12ヶ月分の予算のため増額となっております。</p>	C
				<p>別に観光協会に多額の補助金が出ている。観光協会が補助金で実施していいもの含まれていないか検証・整理の上、事業費を減らすべきです。</p>			C	
3	3-2	成人検診推進事業(結核予防・がん検診経費)	保健センター	<p>がん検診受診者数・受診率の低下要因について、国のがん検診無料クーポンの廃止、縮小が挙げられている。江別市として現在、検診料の助成はどのように行っているのか。</p> <p>検診実施機関の統一、集団検診事務の一括委託は、事務負担の軽減、人件費の削減、市民利用面でも良い事と考える。今後は、検診だけでなく、一般受診においても統括され、市内歯科の予約状況の把握や内科(インフルエンザ流行時)の来院状況の把握、受診予約ができること望ましい。</p> <p>がん検診等(保健センター等で実施する集団検診に限る)とあるが同じ市役所内の国保年金課とは調整がとれており、一緒に一括委託と捉えて良いか。『等』の範囲について)</p> <p>集団検診事務の一括委託により、保健センター内の非常勤職員人件費の削減とあるが、統括される国保年金課でも同様の成果が挙げられると考えて良いか。(他課については答えられないとした場合、『予算編成方針Ⅱ統括事項 ⑥他部局・団体等との調整』が守られていないのではないかと)また、一括委託により正職員の事務負担軽減も考えられる。現在の正職員人件費、非常勤職員人件費、時間外労働状況を提示し、一括委託による人件費削減の予算を提示願います。</p> <p>印刷費等需用費に関しては減額なので、特に異論はないが、郵送料等役務費の増加の要因は何か。(H28決算から100万の増額)通信運搬費は受付の撤廃により減少かと思う。一括委託を通知する市民向けの広告作成を行うのか。郵便料金の値上げにしても2倍はいきすぎかと思う。予算なので決算と誤差があるのは、しかたがないが、あまりに大きな誤差は安易な仕事と言わざるを得ない。(単なる仕訳の間違いなら、勉強してください。)</p>	7,571.3万円	7,512.5万円	<p>江別市では、健康増進法に基づき40歳以上の市民(子宮頸がんについては20歳以上)を対象とし、がん検診を実施しております。また、自己負担額が検診費用の2割から3割程度となるように市で助成しており、江別市国保に加入している方は自己負担額がその約半分となるよう、江別市国保からさらに助成しております。なお、70歳以上の方若しくは非課税世帯・生活保護世帯に属する方の自己負担額を無料としております。</p> <p>今回予定しております一括委託については、国保年金課が実施する「出前健診」の事務、勧奨についても内包しており、国保年金課においても事務の縮減を見込んでおります。</p> <p>一括委託により削減が見込まれる人件費については、正職員保健師分で約70万円、1種非常勤保健師分で約80万円の計150万円程度を見込んでおります。</p> <p>なお、郵送料等役務費については、検診申込者への受診案内・検査キットの送付及び結果通知による郵送料であり、一括委託による受診者数の増を見込んでいるため役務費が増額となっておりますが、広告作成費を含むものではありません。</p> <p>市内医療機関等における予約状況や来院状況を把握した上で個別医療機関での受診予約については、現時点において実施・検討する予定はありません。</p>	C

番号	政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
4	4-2	地域防災力向上支援事業	危機対策室	平成30年度の総合防災訓練は水害を想定した住民参加型訓練を予定とある。現在、北朝鮮のミサイル等、防災の意識が高まっている状態である。内容が水害でもより実践的・実用的な訓練にし、簡易懐中電灯等防災用品の配布等で参加者を増やし、大規模に行うべきと考える。そのために多少予算を増やしてはどうか。 水害に関して、大雨や川の氾濫などが想定されると思うが、自宅での浸水防止の方法や窓や扉の対策、簡易救命胴衣や土嚢の作り方・使い方を車に乗っている時の対応など、学校の避難訓練のようなベルが鳴って移動だけではなく、備えや実践的対応についても学べる内容にしてほしい。	426.1万円	426.1万円	平成30年度の総合防災訓練は、浸水想定区域内にある自治会等の協力により、水害の発生を想定し、自宅から避難所までの避難行動訓練や、避難所において避難者を受け入れる避難所受入訓練の実施など、より実践的な内容となるよう検討してまいります。 また、土嚢の作り方などにつきましては平成29年度の総合防災訓練で、来場者の皆様に体験していただくコーナーを設置したところであり、平成30年度も降雨体験など各種体験をしていただけるような内容を検討してまいります。 今後も、総合防災訓練のほか、各自治会や自主防災組織等で実施する訓練においても、災害時の備えとなる、より実践的な内容の訓練を実施してまいりたいと考えております。	C
	6-2	食育推進事業	給食センター	(無し)	39.6万円	0.0万円		
	6-2	地域間交流・体験活動事業	生涯学習課	(無し)	41.5万円	41.5万円		
5	7-2	セラミックアートセンター 企画展開催事業	郷土資料館	入場料をとって開催すべき事業であり、新聞社等と共催、費用分担すべき事業である一部の市民の趣味的参加のために全額市が負担する事業ではない。	418.9万円	410.7万円	本事業は、質の高い陶芸作品を主体とした多様な工芸作品の鑑賞機会を多くの市民に提供することで、本市の文化資源である陶芸文化を普及振興し、ふるさと意識の醸成を図るよう、道内外の美術館あるいは新聞社等との協力により事業を進めております。 企画展示会開催にあたりましては、受益者負担の考え方のもと、類似事業を参考に料金を設定し、観覧者に一部ご負担をいたしております。 また、市の財政負担を軽減するため、各種助成金や国の支援による巡回展の活用等に努めております。	B
	7-3	スポーツ合宿誘致推進事業	スポーツ課	(無し)	331.0万円	301.0万円		
6	8-1	男女の出会いの場づくり 支援事業	企画課	そもそも市が委託事業として実施すべき事業か疑問。27年度からの3年間で目的は達成しているのではないか。委託先の組織存続のための委託料であってはならない。	50.0万円	51.0万円	本事業は江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略における事業として、晩婚化・晩産化を解消するため、男女の出会いの場を提供するイベントを開催するものです。総合戦略策定時に行った市民アンケートでは、結婚願望はあるものの、異性と出会う場が少ないという回答が若い世代から多く寄せられたことから、行政としても、若い世代の結婚を支援する仕組みが必要と考え、同戦略に組み込みました。 イベントへの累計参加人数は平成29年度に目標値に達しましたが、事業自体の目的を達成するには継続的な実施が必要であり、少なくとも計画期間である5年間は事業の継続を考えているところです。 また、事業を効果的・効率的に実施するため、イベント開催等のノウハウを持った事業者へ委託しており、その選定にあたっては、複数の事業者からの企画と見積もりを比較検討のうえ行っております。 なお、本事業については、まちの魅力をPRし、定住人口、交流人口の増加を図るシティプロモーションの機会としても活用していきたいと考えております。	C
		その他自由記載		江別市民の一人として、どうしても納得いかないのが、江別市は12万都市にして、どうして、JRの特急列車を停車させることができないのか？という疑問です。 特に、JR江別駅はホームが4本もあり、普通列車の特急待ち合わせができます。これは、端的に言ってしまうと、市長・市議会の力不足です。道や国・JRにはたらきかけるぐらいの予算編成体制で新年度の予算を見積もってもらいたいものです。 数百ある事業の中からわずか9事業を抜粋して市民に意見を募集するにあたり事業説明が雑すぎる。1事業を説明するだけでも、膨大な時間と資料が必要なのはわかるが、予算(案)として少なくとも金額の増減に対する説明はしっかりと行ってほしい。合わせて平成30年度予算編成方針に背いている予算(案)と捉えられかねない事業もある(一般財源が増額しているが説明がない、人件費削減の意識が甘い等) わずか9事業しかも、市民向けに作られた事業説明でこの状況では他の事業も同様の状況ではないのかと疑ってしまう。予算の全権を担う市長の意見を聴きたい。(一度見逃した財政課に聴いても意味がないので) 協働を実のあるものするために 川北秀人氏に 講演会ではなく市民活動センターと市全体に コンサルを頼むのがいいと思う 1.平成26年度から実施されているえべつ未来づくりビジョンの「えべつ未来戦略」の行政評価外部委員会の検証と市長への報告が予算編成方針に全く位置づけがありませんが、予算編成にあたって配慮すべきものではありませんか。 2.パブリックコメントを求める事業の選択の方針、選択の基準、選択理由がわかりません。問題がなさそうなものを恣意的に選んでいるのではないかと疑念があります。また、パブリックコメントの対象事業が少なすぎ、予算も少額なもので、これまでより対象事業数が減っていますが、これでいいのか疑問です。				